1966
12 月号
No. 157
編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町 佐藤印刷所

広報 さめがわ

12月の人口と世帯
人口 7,363(－10)
男 3,644(－17)
女 3,719 (＋7)
世帯数 1233(＋2)

壮大な規模をもつ集団桑園など
第四年次の農業構造改善事業

さきに明けゆく村でも紹介されましたが、本村の青生野地区に国有林を払いさげて進められてきた農業構造改善事業も、最終の四年目に入りほぼ計画の事業を終了し、来年度からは実際の運営に入ることになりました。本号では産業課提供の原稿により事業の概要をお知らせします。

この事業では当初計画にないもので、作業管理上どうしても必要な施設や機械類は、五年目の来年まで認められることになつた。それで自己負担の可能な範囲で、設計の変更を行ない、県並に農林省の審査を終つたので、各事業主体毎の説明会を開き、総会の決定をみて事業着手に入つたわけです。

次に各事業主体別に本年度の事業計画の概要を述べてみましょう。

青生野和牛協業組合

草地造成は適地が少なく一六・一五*ha*で前年度造成一四*ha*と飼料畑五・〇二*ha*を合わせると三五・一七*ha*の基盤整備をすることになる。牧野隔障物はアングルでバラ線二段式にして、八、九〇〇米設置し、牛舎は鉄骨の簡単なものを一棟(一三二・五平方米)と、飼料庫一棟(六六・三平方米)サイロ五基、放牧施設としては電牧三、〇〇〇米、給水、給塩所を各五基、管理作業機械として牧草の乾燥機カッター、尿撒布機各一台を購入する計画である。

事業費総額六、五〇六千円(内補助金四、一三五千円。公庫融資一、八六〇千円、自己出資金五一一千円)となりこの外融資単独事業として和牛七〇頭の導入が予定されている。

青生野養蚕協業組合

前年度で植付実面積二二・一*ha*の写真のような見事な集団桑園が造成されたので、本年度は経営近代化施設として軽量鉄骨、スレート葺の壮蚕共同飼育所二棟(六四九平方米)、管理室二棟(一三四・三平方米)の外に、動力防除機と動力草刈機各一台を購入する計画である。

従来の上蔟室にかわり、壮蚕飼育室に上蔟することにし建築計画の管理室は間仕切で半分は事務室とし休憩室を兼ね、半分は貯桑室となつている。尚消毒等に多量の水を使うので、用水確保施設をし、蔟器は自然上蔟器を取り入れ動力毛羽取機二台を備え、完全に省力化を図り、近代的専業養蚕経営を実施する計画である。総事業費五、八七九千円(内補助金二、九三九千円公庫融資二、三四〇千円、自己出資金六〇〇千円)である。

今年晩秋蚕五箱掃立て二五〇*kg*(五五メ)の上繭を出荷した。出来た繭も良桑を飽食したので、五〇〇*g*当り二三七粒(普通は二八〇粒程度)という驚異的な品評会出品繭並みの上繭を得た。

世々麦養蚕協業組合

前年度五・一三*ha*の集団桑園造成が完了。本年度は青生野養蚕協業組合と全く同じ建物で、壮蚕共同飼育所一棟(三二四・五平方米)、管理室一棟(六七・七平方米)と動力防除機一台を購入し、総事業費は二、九〇八千円(内補助金一、四五四千円、公庫融資一、一六〇千円)である。今年は晩秋蚕を四箱掃立て、一二六*kg*(三三メ)の協業組合始めての上繭を得た。

青生野牧野組合

草地造成六・四九*ha*で前年度分を合わせると一六・五*ha*となる。牧野隔障物はアングルでバラ線二段式とし三五七〇米を計画、総事業費一、五九〇千円(内補助金一、一三千円、公庫融資三七〇千円、自己出資金一〇七千円)である。

大横場牧野組合

草地造成一一・七七*ha*で、前年度分を含めると一六・七七*ha*となり、放牧施設としては電牧三、〇〇〇米、給水給塩施設各三基設置する。総事業費は一、五八〇千円(内補助金一、〇七四千円、公庫融資四〇〇千円、自己出資金一〇六千円)である。

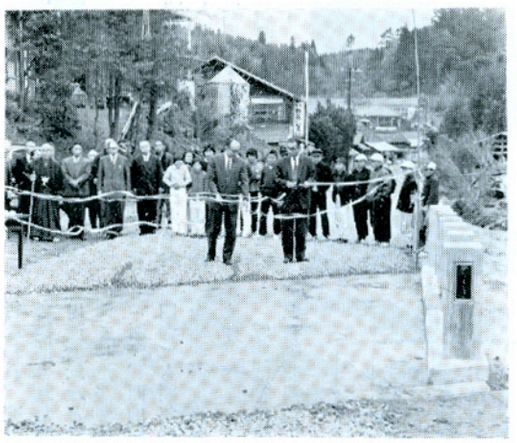
鮫川村農業協同組合

トラクター(四四・五馬力)一台を購入し、草地改良や飼料畑の万能耕耘機械として、ポットムプラウ、デスクハロー、ライムソワー、トレーラー、ロータリーテイラー等付属機を備付ける。

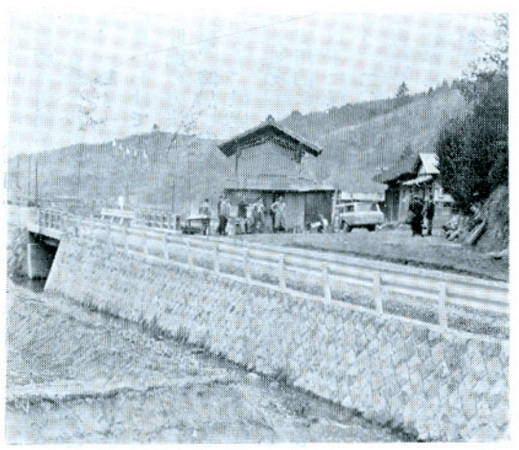
特に本村の草地造成地は傾斜度が強いので、前後車輪のタイヤにチェン式の不駄をはかせたハーフトラクターとして計画してある。

尚これら農機具類を保管々理上必要な、農機具格納庫一棟(七三・四四平方米)を設置し、総事業費は三、六一五千円(内補助金一、八〇七千円、公庫融資一、四三〇千円自己負担三七八千円)となつている。

以上六事業主体の昭和四十一年度総事業費は二二、〇七八千円となります。



富田の彦次郎橋が 490万円の経費で永久橋に架けかえられ、棚倉土木所長と石田村長が渡り初めのテープを切りました。



橋の前後の県道も一直線に改良され、ガードレールもつけられて、安全交通ができるようになり、地元の皆さんによろこばれています。

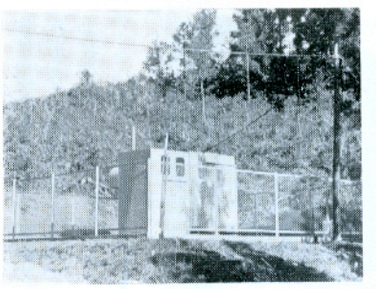


日本一新しい電話器

渡瀬、富田地区の農村集団電話は四十年九月に設置期成同盟会が結成され、会長に渡瀬区長、芳賀洋郎氏を選び熱心に事業をすすめてきましたが、役員を始め村、鮫川郵便局など関係機関の努力により困難視された四十一年度事業に入ることができました。

工事は東北通信建設KKが請負い七月七日に着工し十一月三十日に完成しました。工事費は八千万円（加入者負担二千万円）で、両地区に百九十六台の国内でもっとも新しい型の電話器が入りました。

この落成式は十二月七日に渡瀬中屋体で加入者百九十六人と、電々公社石川報話局長など公社関係者、村関係者などの来賓多数を招いて盛大に行なわれ、交換台敷地を無償で提供された渡瀬字福原の蛭田茂信氏などに感謝状が贈られました。



西野、西山地区（二百三十四台）も明年の二月上旬開通をめざし工事が進められています。

写真は福原地内に設置された自動交換台

季節の農事

種もみの貯蔵

水稲の脱こくも終ってほっとするところですが、今月は種もみの貯蔵について述べてみましょう。

貯蔵しておく場合、種もみの条件としては、水分の少ないことが望まれます。水分含量が多いと呼吸作用が盛んで内容物の消耗が多くなり、変質するおそれがあります。普通、一四～一五％以下であれば良いわけです。

貯蔵の方法としては、低温低湿、暗黒、密封が良いとされます。温度については0度が理想の温度と考えられます。

実用的にはだいたい、一五度以下に保つことがよいでしょう。二〇度以上になる場合は害虫やカビ類が活動する危険性があります。

湿度については、できるだけ乾燥した場所を選ぶことです。じゆうぶんに乾燥したもみでも、しめったところでは再び水分が多くなるし、一方ではカビの繁殖につごうの良い条件を与えることになります。

ですからよく乾燥したもみを、湿気が少ない、温度のあまり高くないところに貯蔵するのがよいことになります。さらには、温度の変化も少ないほうがよいわけです。

一方ねずみの被害には常に注意を怠らないようにしてください。もみが食い荒されるばかりでなく、カマスやタワラに穴をあけ、積み重ねてある別の品種と混る場合もあります。

品種など不明にならないように、明確に札などをつけておきましょう。



森林経営委託のおすすめ

人手がなく思うように造林や、手入、伐採ができなく困っている方々のために、鮫川村森林組合が、林業家の委託を受け、その山林を管理するのが、経営委託事業です。村では林業経営改善のために経営委託のあっせんを致します。経営の委託をすることが決まれば、森林組合では、委託者と契約を取りかわし、その山林の境界測量や造林計画をたてるための内部測量や、伐採のための材積調査などを行ない委託者と相談して、五～十ケ年位の施業の方法をきめた経営計画を立て、森林組合の労務班により、毎年計画的に仕事を行ないます。その仕事の種類及び仕事量により算定された委託料を森林組合では、林業家より納入していただきます。

委託面積は一*ha*以上で事業内容は地ごしらい、植付、手入（下刈、除伐等）のほかに地ごしらいから植付手入まで、又伐木造材、伐採、販売から植付まで経営全部にわたっています。

経営委託を希望される方は「林業経営委託申込書」により、役場産業課まで申込んで下さい。

申込書は十二月中旬に農事組合長を通じて配布します。

（産　業　課）

村税完納運動にご協力下さい

期間　十二月一日より十二月二十六日まで

村税を完納して、住みよい村をつくりましょう。

今年もまた、十二月一日から未納になっている各種の村税を完納していただく運動を展開しております。

いろいろ御都合もあることでしょうが、未納になっている方は、この際是非完納し、すっきりした気持で良い年末年始をお迎え下さい。

なお、現在未納になっている村税は、十二月二十六日を過ぎると延滞金を加算して納めていただくことになるばかりでなく、未納の組員がある納税組合に対しては今年から納税奨励金は交付されませんので十分御注意願います。

★12月の納税★

村県民税第3期分
保険税　第5期分　最終納期です

納期限＝12月26日

これで今年の村税は全部終りです。
わすれず、おくれず納期内に完納し明るく楽しい年末年始を迎えましょう

おやのおもみ（41）

四十一年も暮れようとする十二月一日に、全国山村振興大会が、丸の内の第一生命ホールで開かれ、二日には恒例の全国町村長大会が、日本武道館で開かれました。

三日は九段会館の国民健康保険事業全国大会と続き二千八百人の町村長が東京に釘づけされたかっこうになりました。

各省大臣、衆参両院議員も多数来賓席に顔を見せられたが、内閣改造と臨時国会開会の只中であり、あわただしい雲行きが感じられました。

二日の町村長大会に祝辞を述べた松野農林大臣は「只今辞表を書いて来ました」と前置きする始末であるし、大変景気のいいあいさつをした山口喜久一郎衆議院議長は、急いで会場を去ったが、あとで新聞を見ると、帰ってすぐ議長を辞任したらしく、あれが議長としての最後の「大演説」であったかと苦笑を禁じ得ませんでした。

政界のはげしい揺れ方の中でも、山積する難問をかかえているわれわれの側は、真剣に大会運営を推進せざるを得ない立場にあるので、各会場とも熱気に満ちた盛り上りが見られました。

あらしの中の全国大会

村長　石田卯子八

山村振興法は議員立法で成立した法律で、立法の精神からいえば現在の時点で最も重要な役割を果たすべき、地域較差是正、地域開発促進の施策といえるわけですが、各省のセクト主義や、財源の貧困などから、最初に該当させなければならない本県の阿武隈山系などに容易に廻って来ない条件があり、実効を期待することが困難な状態にあります。

地方自治体の財政対策、地域開発、社会保障などは、いずれも個々の町村の能力で処理できる限界をこえるようになって来ており、住民の行政需要の急増に対処する途は規模の小さい町村合併などの手段をもつてしても、容易に解決されないものであることがわかります。

町村の側では毎年大量の青少年を育成して、これを都市の生産人口として送りこんでいます。このことによつて起る人口の地すべり的移動は、人口の「過疎地域」という妙なことばまで生ずるようになりました。人口の急減は自治体の財政的、行政的能力と機能を著しく低下減退させる現象を起します。

町村の財政支出の過半を占める教育費なども、見方によつては、都市の生産人口を、貧困な町村財政で育てあげて供給しているともいえるわけです。

これに対する都市や国家の反対給付は、まことに少ないといわなければなりません。

このような共通のなやみに直面するきびしい現実を、政府国会に再認識を要求するのが、これら大会の眼目でありますが、その成果についての過大評価は禁物というべきでしょう。

老人クラブの旅行

十一月一日午前七時、待ちに待ったハワイアンセンターへの視察旅行のため、富田老人クラブ員四十六名は元気よくバスにのりこみました。

中野、新宿を過ぎる時、青戸会長さんの「皆さん、お早うございます。富田老人クラブは元気でハワイアンセンターに行ってまいります」という元気よい挨拶には、丁度朝食中の人々も驚いて、戸外にとびでて私達の一行を見送ってくれた方もありました。

晩秋とはいえ、空は澄みきって、晴れわたり、錦織りなす山々には、まだ秋の名残りを十分とどめて、私達の旅情を慰めてくれました。途中、御斉所峠にて休憩、午前九時半頃目的地ハワイアンセンターに着きました。

丘の上にそびえ立つ壮大なビル、ホテル、豪華なセンターは、まさに近代建築の粋と美を集めて建築された建物で長年生き抜いてきた富田老人クラブ一同も流石に目を見張りました。

大温泉プール、長い長いすべり台、ハワイそつくりのやしの木、バナナの木、全くみごとなものです。浴場は浴場で、その広いこと、いろいろの形の風呂、きれいなフラワー風呂などに十分温泉気分を味うことができました。

三味線漫才を聞きながらの一寸いつぱいも味があつた。豪華な楽団演奏に歌謡曲、それにも増して、ハワイアンセンター第一の名物フラダンスには腰も抜かさんばかりの驚きでした。

うすつかり童心にかえつて、帰りのバスの中も大へん賑やかでした。

終日、秋日和の好天候に恵まれ、よい旅行を出来たことは、青戸会長さん坂本会計さんはじめ多数の役員の方のお骨折りは勿論のこと、石田村長さん、吉保区長さんからの温情ある御芳志を頂戴したこと、会員の皆さんの理解ある御協力によるものと思います。

九十才近い女の方の参加もありましたが、一人の車酔いもなく、みんなで長生きしていることの喜びを十分味わうことのできましたことは、本当に嬉しく思います。

来年も、またきつと全員参加することを約し、午後五時頃散会いたしました。（菅野）



写真は富田老人クラブのおじいさん、おばあさん方

新鮫川風土記 ⑩

鮫川を下る

中井恒雄

●はじめに

福島県の河川で大きいのは次のようである。（本流のみ）①阿武隈川は流程キロ一九七キロ、水源地西郷村、流末地宮城県荒浜。②阿賀川は流程キロ一六五キロ、水源地田島町、流末地新潟県。③鮫川は流程キロ六七キロ、水源地東白川郡鮫川村、流末地、いわき市大字勿来字植田。④夏井川は流程キロ六〇キロ、水源地滝根町、流末地いわき市平字草野。⑤木戸川流程キロ四五キロ、水源地川内村、流末地楢葉町。（以下略）である。私はこの有名な鮫川を上流より水と共に下り、その土地、その地区の風土を紹介することにしたい。

鮫川の源流は古書などの書類によると、赤坂東野松曾根山ふもとより源を発し、西北に流れ広畑地内で富田川及び内ヶ竜川を合せ、赤坂中野字新宿を貫流し、更に北流して古殿町に入り、勿来市に至り海に注ぐ。全長五七・七キロ村内を流れること一三・一キロにおよぶ。一説には、鮫川の水源地を渡瀬字福原地内にある鮫池であるとし、大古、この鮫池にサメが住んでいたのだという伝説により鮫川の名が生まれたという……。



私は今回から数回にわけてそれぞれの水源から鬼越を過ぎる村境まで、水と共に歩き美しい風土を紹介することにするが、はたして源流とはどこなのか？、疑問になつたので、それぞれの支流の源流である富田川、戸草川、遠ヶ竜川、大塩川、真坂川、石井草川、西山川などあらゆる地区からの源流をその都度ごとに記載し、共に風土を紹介することにしたい。



インフルエンザにご注意

（モ）（メ）（の）（し）（ら）（く）

インフルエンザの発病は急激にきます。いままでなんでもなかつた人が、頭痛や寒けを感ずるとともに、急に熱が出てきます。熱は高く、三十九度にもなります。普通三日から一週間ぐらい熱が続きます。また二、三日熱があつたのち、いつたん下がつてまた上ることもあります。

普通の健康体の人なら、これに耐えていけますが、老人や乳幼児、病弱な人はそうとう弱まり、肺炎などの余病を併発して危険になることがあります。

インフルエンザで死亡する人のほとんどは、肺炎のためといわれます。そこで熱の高い時、のどの痛みのひどい時咳のはげしい時などは、インフルエンザの疑いがありますから、必ず医師の診断をうけるようにしてください。

さて、インフルエンザを予防するにはどうしたらよいかということですが、まず、流行にそなえてワクチンによる予防注射をしておくことが大切です。ワクチンというのは人に接種して免疫体をつくらせ、それによつて感染を予防したり、病気を軽くすませるのが目的です。接種をうけた人自身の力によつて体内でこの免疫体がつくられるので、一定の時間がかかります。インフルエンザの場合は接種してから約二週間たたなければ効果がでてきません。ですから、流行にそなえ、早めに接種する必要があります。そこで県では、一番感染の危険性がある集団施設、とくに抵抗力の弱い、幼稚園、保育所、小中学校の園児や児童生徒を対象に、十二月末までに、接種を終るように行つています。

また一般の人たちにも希望者に対しては行なうことにしてあります。実施する場所、日時、費用などについては村にたずねてください。よくあることですが、新聞やテレビなどでインフルエンザの流行が報道されると、保健所や村役場に大勢の人から予防接種の希望申し込みがありますが前にも述べたとおり接種後、約二週間位経過しないと効果がありません。さらに、全国的な流行期を迎えると、ワクチンの入手も困難になりますので、村の計画にしたがつて早い機会に接種してください。ただし、予防接種をしたからといつて、絶対にかからないというものではなく、軽くすませる効果が大きいということです。

また、インフルエンザも普通のカゼも感染したビイルスが、からだの抵抗力の弱つたときにつけこんで病気をおこしますから、カゼを防ぐためには、まず抵抗力をますことが大切です。とくに運動不足の人は、できるだけ運動をするように心がけてください。さらに次のことがらに注意しましょう。

温度の変化に気をつけること。汗のあとしまつ。じゆうぶんにすること、湯ざめ、うたたねに用心すること。不必要な外出をさけること。ウガイをすること。不節制をさけること。冬は野菜が不足しがちなので、ビタミンCが欠乏してきます。ビタミンCは、外界の刺激に対して体を守る働きをつとめます。ですからできるだけ、野菜や果物を食べましょう。

ねずみの駆除

ねずみは農作物や食物を荒し伝染病、食中毒の原因にもなるのでこれらの被害を防止するために、村では村内一斉ねずみ駆除をおこないますので実施に協力願います。

一、実施期間
十二月十日から
十二月三十一日まで

二、殺そ剤配布
一戸一袋　無料　村負担

三、実施方法
(一)毒えさは紙に包んで外部より見えない場所におくこと。
(二)食べ物の整理
毒えさをかけるときは食べ物を整理しておくこと。
(三)あと始末は完全に
(イ)食べ残りの毒えさは事故のないように又死んだねずみも土の中に埋めること。
(ロ)毒えさを使用しない時は役場に返して下さい。

（住民課）

告知版

学校訪問

村教育委員会では村内小中学校の施設設備の管理状況を視察し、先生方の希望や意見を聞くため、次の日程で教育委員の学校訪問を実施しました。

◎十二月八日…西野小、西山小、鮫川小、東野分校、戸草分校

◎十二月九日…鮫川中、富田小、渡瀬小中、青生野小中

明るくなつた教室

富田小学校の古い校舎は近年老朽化し、土台の一部が腐朽し教室と廊下の床にゆがみができたので、補強工事を行なうことになり、白河市鼎建設が九十万円で請負い工事を進めていましたが、この程完成しました。

いままで窓面積が少なく暗かつた教室も、ガラス窓を増したため明るくなり、床も総檜でみちがえるように新しくなりました。

衝立などの寄贈

新しい公民館の備品として村老人クラブ連合会（会長矢内嘉続）が鏡二ケつきの衝立一脚、村婦人会（会長阿久津ハル）より鏡台二台うち姿見一台の寄贈がありました。

なお村青年会より大時計一ケ、東野字広畑の藤田卓三さんより鏡一ケの寄贈申し出でがあります。

（ね）（ん）（き）（ん）

〃もう 師走〃

◎昭和四十一年も除夜の鐘を聞くばかりとなりました。

◎来年一月からは新しい額の保険料となります。

二十才から三十四才まで…二百円。三十五才から五十九才まで…二百五十円

⊙みなさん納め忘れの保険料はありませんか。

来年一月からの新しいスタートのためにも、一、二、三期分の納め忘れの保険料はきれいに納めましょう。

（住民課）

中学生より千羽鶴

このたび青生野中学校三学年女生徒二名（匿名）より大変りつぱな千羽鶴が贈られてきました。これは給食調理員さん達が毎日おいしい給食を作つて、遠いところまで運んで下さるので私達も楽しく学校に通うことが出来ます。その御苦労に報いるためですと名前を告げずに置いていつたものです。紙上を借りて御礼を申し上げます。尚千羽鶴は給食センターの休憩室に飾り私達の「マスコット」として大切にしております。

（給食センター職員一同）

国保だより

健康家庭の表彰

国保の健康家庭表彰についてこれまでの表彰基準を改め、昭和四十一年から次の家庭に表彰が行なわれることになりました。

どの家庭もこの表彰を受けられるよう、健康に御留意下さい。

①被保険者が三人以上で前年に誰も療養給付を受けたことがなく、国民健康保険税を完納した世帯

②二人以下の場合は二人が二年、一人が三年間、継続して無給付で国保税完納の世帯

（住民課）

小さな親切

前日さきに失くしてあきらめていた定期入れが差出人不明で送られてきました。このなかには身分証明書や写真が入つていたので、とても困つていました。名前が分らないため礼状の出しようがありません。送つて下さつた方が分つたら切手代を渡して下さい。…と書いて百円を同封した手紙が公民館に配達されました。差出人は西山字鍛治平の芳賀節子さんです。心あたりの方は公民館に連絡して下さい。

おめでた

十一月

道少田 水野恵美子 父美好

中山 蛭田 誠司 〃栄次

おくやみ

十一月

名下 須藤 嘉蔵64 一雄

官代 前田新一郎81 正男

年賀状の差し出し準備をしよう



鮫川郵便局提供

◆年賀状の差し出し準備を

毎年十一月に入ると、そろそろ考えなければならないものに年賀状があります。

日本古来のゆかしい習慣として年々数がふえつつありますが、新しい年の始めにごあいさつを交すのもよいものです。

一年間ごぶさたしてきた親戚や知人、旧友などに消息を伝え合うにもよい機会です。

しかし郵便局側として困ることがあります。

それは「**あて名が完全**」でないものが多いことです。

たとえば、古い手紙の住所をそのままうつして書いたりするため、名あて人が転居していたり「**住居表示制度**」であて先の表示が変わつていたりして、あて先が不明になる例があります。

そのほか、うろ覚えのまま書いた「**あて名が不完全**」だつた例もあり、これはせつかくの年賀状が迷い子になつたりおくれたりするもとです。

また年末ぎりぎりになつてから一度に差し出されますと郵便局が混雑して一月一日に間に合わないこともありますので、早くから次の要領で年賀状の差し出し準備をされることをおすすめします。

1 住所が変わつていないかどうか、よく調べ、ことし変更通知のあつたものは、忘れずに名簿をなおしておくこと。

2 年賀状を印刷したり、版画で書いて出す方は早目に手配して下さい。

3 転居された方は、旧住所の受持郵便局へ転居届を出しておくこと。

4 新住居表示実施地域に住んでいる方が、年賀状をお出しになるときは、その末尾に住所がかわつたことを付記すること。

◆差し出しはなるべく午前中に

便物の差し出しは夕方に集中する傾向が強く、このため局内の時間別の処理量が大きくかたより郵便物のスムーズな流れをはばむ原因となつています。

◆あて名は正しく〃ハツキリ〃と

コドモや同居人には「肩書」を、町名が変つたところは「新町名番号」で

◆年賀状はおそくとも十二月二十二日までにお出しください。

小包郵便物については**十二月十五日**までに出してください。それ以後になると、年内配達にならない場合がありますので御注意下さい。

去りゆく年に思う

冬将軍がやつてくると、子どものかじかんだ手が無よう に可愛いい。オーバーに身をくるみ、スラックスやズボン姿で寒そうに登校してくる子を見ると、冬がなくともよいとも思われる。しかし案外元気な子どもは、大人の想像や心配をよそごとのように考えているらしい。ずいぶん大きくなつたものだ。四月に入学した一年生が重いランドセルを平気で背負い元気よく通つてくる。礼儀正しくなり、ことばもハツキリし、態度もしつかりしてきてほほえましい。この子どもたちに私は一体何をしてあげられたであろうか。ふとそんなことを思うと、大人の世界の中で、或はヤキモキし、へんな意地をはり、他人のかげ口に憤りを感じ、天候に左右されたりしての気分本位だつたことが恥じられる。叱られてもサラッとしてついてくる子、賞められて心から嬉しそうに笑う子どもの前にたつて、私は自分の心のせまさを思う。子どもを可愛がろうと自分で約束したことが形となつて、何かに表れたのかと反省すると寒々としたものをおぼえる。一人一人にとつて幾つかの喜怒哀楽を秘めた今年が静かに去つてゆく。せめて今年出来なかつた自分のねがいを、除夜の鐘をききつつ、紅白歌合戦を聞きつつ、来年実現したいと私は思う。みな子どもたちよ、大きくなれ 健やかに育てと念じつつ……。

鮫川村立西野小学校長

古川一郎

自衛官募集

十八才から二十五才までの男子で希望者は村役場総務課に申しこんで下さい。

身分は特別職の公務員で二十二才の初任給は月額一万四千一百円、ほかに各種手当や賞与年三回、退職金もあります。衣食住は無料で厚生施設は完備しています。

あとがき

御協力頂いた公民館も完成まぢかです。

本村では農協につづいて鉄筋コンクリートのデラックスな建物で、内部も上質の材料が使われています。この建物にふさわしい設備を整えようと協力会の役員さん方と、ともに走りまわつてきました。なんとか寄附金の範囲内で充実した設備を整えることができそうです。協力会の委員さん方に感謝するとともに、村民の皆さん方に厚く御礼申し上げます。公民館落成準備のため新年号の編集は総務課にバトンタッチします。（鈴木一）